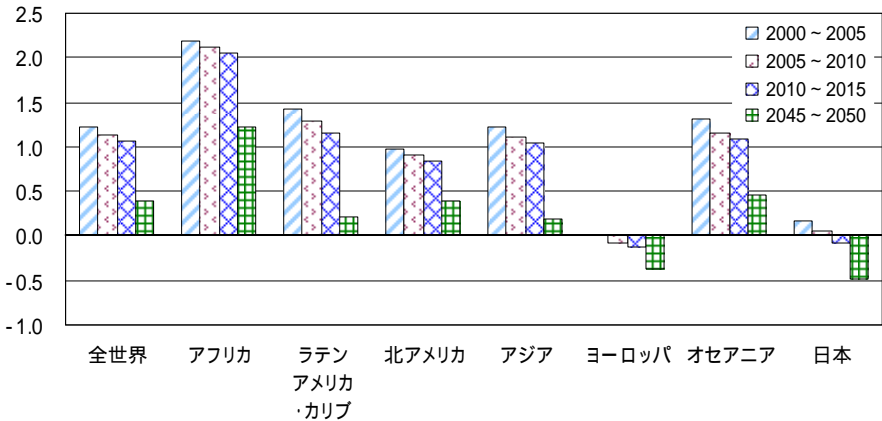


2 人口・労働力人口

2-2 人口増加率の将来推計

(年率、%)



▶ グラフの具体的な数値および資料出所については、「第2-2表 人口増加率の将来推計」(p.59)を参照。

国連は2年間隔で世界人口について推計を行っている。

今回の2004年推計によると全世界の人口は、2000年の61億人から2005年には65億人(年率1.21%)に増加し、さらに2025年には79億人と、2000年からの25年間で約18億人が増加すると推計されている。2000年推計では、2050年の世界人口の中位推計は93億人としていたが、2004年推計では、91億人と2億人ほど少ない予測となっている。これは、HIV感染症の影響が深刻で長引くこと、世界的な少子化の傾向を受けて2050年までに発展途上地域でも4分の3の国が人口置換水準である出生率2.1を下回ると仮定を変更したことが主な要因である。

人口の多い国では、たとえ出生率が低下しても、大きな人口増加が見込まれている。2000年から2050年までの50年間で、インド、パキスタン、ナイジェリア、アメリカ、中国、バングラデシュ、エチオピア、コンゴ共和国の8か国で世界全体の人口増加の過半数を占めるとされている。